

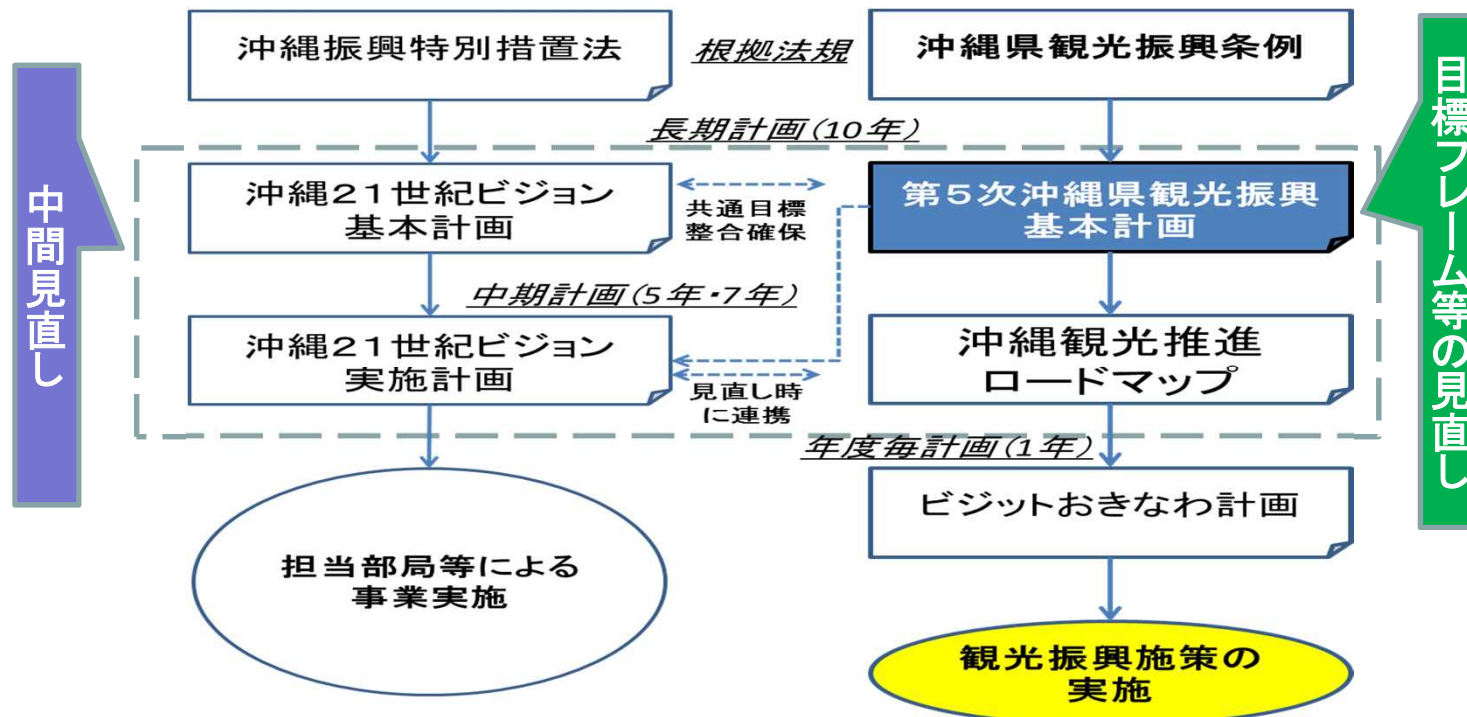
第5次沖縄県観光振興基本計画
中間見直しに係る説明資料
《基本計画のポイント》

平成28年12月

文化観光スポーツ部

1. 沖縄21世紀ビジョン基本計画と沖縄県観光振興基本計画の関係

- 沖縄県は観光振興に関する法規及び計画が2系統存在
(沖縄21世紀ビジョン基本計画と第5次沖縄県観光振興基本計画)
- 2つの基本計画(長期:10年計画)は数値目標等について整合をとり策定



本審議会での審議のポイント

- 計画策定後の沖縄観光を取り巻く環境の変化への対応
- 観光収入1兆円、入域観光客数1千万人等の目標値

2. 第五次沖縄県観光振興基本計画の構成概要

1 計画策定の意義

今後も持続的に沖縄観光を維持、さらに発展させるためには、海外市場の戦略的な開拓や環境と共生する観光地への展開、沖縄観光ブランドの構築などに積極的に取り組んでいく必要があることから、沖縄県では観光振興基本計画を策定し、各種取組を戦略的かつ積極的に実施していく。

2 計画の性格

本計画は、沖縄県観光振興条例（昭和54年条例第39号）第7条に基づき、観光の振興に関する基本的な方向を明らかにするために策定する計画。

県民をはじめとした沖縄観光に関わるすべての人が認識すべき10年後の沖縄観光のビジョンを指し示す計画であり、各主体が協働してそのビジョンを実現するための基本方針を示すもの。

3 計画期間

計画期間：平成24年度～33年度（10年間）

4 目標フレーム

- (1) 観光収入：1兆円
- (2) 観光客一人あたり県内消費額：10万円
- (3) 平均滞在日数：5日
- (4) 人泊数：4,027万人泊
- (5) 入域観光客数：1,000万人（国内客：800万人、外国人：200万人）

5 国内外の旅行動向並びに沖縄観光の現状

縮小する国内旅行市場と拡大する海外の旅行市場の動向のほか、観光客並びに観光収入とも伸び悩む沖縄観光の状況

6 今後10年間で対応すべき沖縄観光の課題

外部環境及び内部環境の分析結果を踏まえて、本計画で目指す10年後の沖縄観光の将来像を提示するために、今後10年間で解決すべき6つの沖縄観光の課題

7 目指す将来像

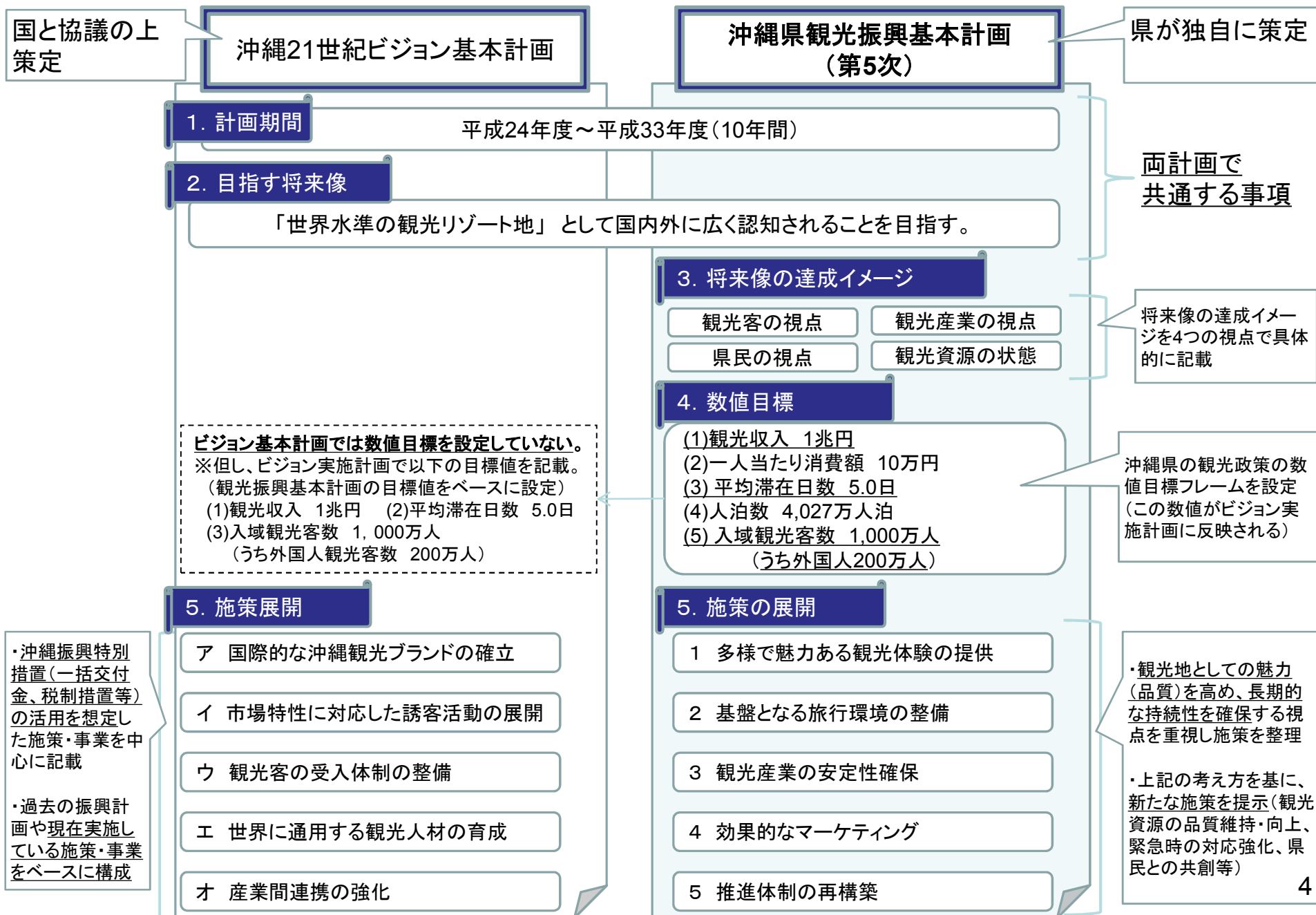
目指す将来像：「世界水準の観光リゾート地」

洗練された観光地としての基本的な品質が確保され、更に沖縄独自の観光価値を発揮することによって、アジア・太平洋地域における競合の中で「沖縄/OKINAWA」のポジションが確立され、国内外において高いブランド力を保持する観光リゾート地として認知されている。

8 施策の基本方向と展開

- (1) 多様で魅力ある観光体験の提供
- (2) 基盤となる旅行環境の整備
- (3) 観光産業の安定性確保
- (4) 効果的なマーケティング
- (5) 推進体制の再構築

【参考】沖縄21世紀ビジョン基本計画と沖縄県観光振興基本計画との関係整理



・沖縄振興特別措置(一括交付金、税制措置等)の活用を想定した施策・事業を中心に記載

・過去の振興計画や現在実施している施策・事業をベースに構成

4.第5次沖縄県観光振興基本計画の目標値の達成状況

※観光客数全体は順調。特に外国人観光客は、平成28年度目標値を200万人として設定

※一方、「一人当たりの県内消費額」、「平均滞在日数」については、目標達成に向けて、更なる取り組みが必要な状況

※参考

21世紀ビジョン実施計画の「目標とするすがた」における5年後(H28年度)目標値との比較

沖縄観光の目標フレームの達成状況

	平成23年度 実績	平成27年度 実績	平成33年度 目標	達成 状況
	(A)	(B)	(C)	(B)/(C) (D)
観光収入	3,783億円	6,022億円	1兆円	60.2%
一人当たり 県内消費額	68,427円	75,881円	10万円	75.9%
平均滞在日数	3.79日	3.83日	5.00日	76.6%
人泊数	1,552万人泊	2,250万人泊	4,027万人泊	55.9%
入域観光客数	553万人	794万人	1,000万人	79.4%
うち外国人	30万人	167万人	200万人	83.5%

平成28年度 目標	達成 状況
(E)	(B)/(E) (F)
7,500億円	80.3%
- 円	-
4.73日	81.0%
- 万人泊	-
800万人	99.3%
120万人	139.2%

5.対応すべき沖縄観光の課題

○現行計画で位置付けられている沖縄観光の課題は次のとおり

(1). 観光地間の国際競争に対する対応

(4). 継続的な観光基盤の整備推進

(2). 環境問題に対する対応

(5). 観光に対する県民理解の更なる促進

(3). 基幹産業としての役割発揮

(6). 観光振興に資する人材育成の推進

上記、課題に加え、策定後の取り組みと環境変化

これまでの実績に関連する事象

今後の展開や目標値に関連する事象

那覇空港第2滑走路の着工、供用開始に向けた気運の高まり

那覇空港国際線ターミナル
新石垣空港 クルーズ船ターミナル

観光客の急増（特に、外国人観光客）

受入体制に対する課題の顕在化
（2次交通、雇用）

観光に対する県民意識の変化
（県民意識調査）

東京オリンピック・パラリンピック

政府の観光ビジョンの策定
2020年目標を4,000万人へ拡大

世界自然遺産、国立公園プロジェクト

クルーズ船バース
大型MICE施設、空手会館

第5次沖縄県観光振興基本計画の改定案において目標フレームや各施策へ反映